

図書館だより

10月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	④	5	6	7	8	9
⑩	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	⑫	26	27	28	⑳	30

○印 休館日
月曜日・祝日(10日)
月末館内整理日(29日)

秋は空気が澄んでいて、過ごしやすい季節です。果実もおいしく食欲の秋、スポーツの秋とも言われています。そしてもう一つ、秋は「燈下親しむ秋」でもあります。今月下旬より「読書週間」が始まります。ぜひ機会をつくって『読んでみたかった』そんな一冊を図書館で探してみてください。

今月の新刊図書案内

♥ 一般図書
日本の覚醒 新保祐司
マーフィーの法則 アーサー・ブロック
考古学千夜一夜 佐原真
ローマ人の物語2ハンニバル戦記 塩野七生
太平洋の世紀上・下 フランク・ギブニー
リーダーの資質 ルッシイ・M・ララ
箸のはなし 阿部正路
バーバラ・ハリスの「臨死体験」 バーバラ・ハリス
木を植えて魚を殖やす 柳沼武彦

劇団風の子 『どきどきどっかん』 都留公演のお知らせ

7人の役者が、舞台を駆けめぐる、胸がドキドキする公演が、劇団「風の子」によってくりひろげられます。
日時 11月7日(日)
場所 谷村第一小学校体育館
時間 午前10時30分～11時45分
午後1時30分～2時45分
開場は開演の20分前
料金 大人(高校生以上)1,500円
小人800円(3歳以下無料)
当日券は200円増
※ 座布団を持っておいでください。
主催 つる子どもまつり関連企画
第9回芸術鑑賞開催実行委員会
連絡先 橋元 ☎(45)4521



やせて元気になる食事 阿部進
ギョギョ図鑑 鷲尾圭司
俳句の書き方 松橋巨山
近世滑稽俳句大全 加藤郁子
ネプチューンの迷宮 佐々木謙
飛行船帝国 天沼春樹
解体屋外伝 とうせいこう
ガラシア祈禱書(オラシヨ) えとう乱星
汚名の広場 北方謙三
清貧の生きかた 中野孝次
硝子の塔 アイラ・レヴィン
トミーノッカード・ズ・下 スティーヴン・キング
外一七一冊

♥ 児童図書
ドキドキ夢うらない リンカン
さんちゃんのピラミッド おもしろカレライス物語
ピーターラビットの自然観察 月はどこへいったの?
ピーターラビットのたのしい料理 ピーターラビットの庭しごと
最新サッカー入門 忍たま乱太郎宝のタマを さがせの段
スペースマイマイあらわる! 天才えりちゃんの アラビアン・ナイト
飛行船帝国 ママが死んだ
妖怪パンシーの本 ツトムくんのさんぱつ
モコモコちゃん家出する。 なんでもぴたりあたりやプンダ
外七十八冊

心の健康シリーズ(6)

“ひとつで” “いろいろはじめるころ” 幼児期の教育



ばかり、つい忙しいお母さんは、おこると「ごめんなさい」とはいふものの少しもききめはなく、次から次へといたずらを繰り返してしまいます。
二歳前後から子どもの世界はどんどん広がって、人間らしい知恵が日一日とついてきます。この頃から親にとっては困った「いたずらっ子」「だだっ子」と見えてきます。

昔から三つ子の魂百までもということわざがあります。人の一生のなかで、人格形成のとおりわけ大切な時期が乳幼児期にあるということでしょう。
男児は、二歳のお誕生日がすぎた、よく動きまわる元気の良い男の子です。お母さんは、近ごろの男児に少々手をやいています。といひますのも、つい最近までは、お母さんの後を追っては、いうことをきいていました。が、この頃は「ひとりでする」とか「自分で」といって、お母さんのいうことをきかなくなってきたのです。ご飯を食べるときも「自分で」といってきかず、まわりじゅう、ご飯だらけ、お母さんがお勝手をすると、「自分も」といって椅子を持って来て、流しの水道で洗う物や水いたずらをして、まわりじゅう水だらけ、衣服もビシヤビシヤ、ますますお母さんの仕事はふえる待します。

大人にとっては、「いたずらっ子」としか見えなくても、子どもにとっては、興味あるもの、新しいものへの挑戦なのです。しかし幼児にとつてうまくできないのはあたりまえです。けれど大人は、「だからあなたにはむりなの」とか「だからいったでしょ」といふもって「いたずら」を親が取りあげてばかりいると、子どもは臆病になり、自主的でなくなるのです。むしろ、子どものすることを辛抱強く見守り、励ましてやるくらいのお母さんのかしこさが子どもの将来により結果をもたらします。
あまり神経質にしつけようとすると、子どもは、何事をするにも母親の顔色をうかがい、するにしても、失敗をおそれ、消極的行動となりがちです。
家庭は子どもを守り育てる所です。どんな子に育てるかはお母さん、家族の心がけと態度にかかっています。両親が賢明になることを期待します。